

## 事故の型別にみた車両系荷役運搬機械等による死亡災害事例 （平成26年発生分）

### ■ フォークリフト

#### 01. 墜落・転落

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
1	北海道	1	食料品製造業	被災者は倉庫の底下に木製パレットを限界まで積み上げるため、フォークリフトで高さ2.24mにリフトしたパレットに乗り、庇の構造材に取り付けた角材に干している魚を作業の支障にならないよう移動していたところ、地面に墜落した。
2	埼玉	5	建築工事業	漬け物工場における自動火災報知器設備修繕工事において、被災者が、最大荷重2tのフォークリフトのフォークに積み上げられた4個の漬け物容器の最上段の容器内を足場とし、高さ6.675mの天井に設置されている火災報知器の取付け・取り外し作業中、バランスを崩し最上段の容器とともに墜落した。
3	茨城	6	陸上貨物取扱業	事業場内で被災者がフォークリフトに付けた搬器に搭乗し、高さ約6mの箇所にある棚から自動車用のマフラーをピックアップした後、被災者がフォークリフト運転者に対して、搬器を下すように合図をしたため、搬器を下したが、ドスンという音がしたので、搬器を下すのを停止させ、フォークリフト運転者が確認したところ、被災者が意識を失った状態で倒れていた。
4	愛媛	9	道路貨物運送業	被災者が工事現場からレンタル品の高所作業車（垂直昇降型クローラ式）を回収して搬入先に運搬し、搬入先の労働者が最大荷重3.35tのフォークリフトを運転し、車両の荷台後部からフォークを差入れ、被災者が荷台上で高所作業車を運転してフォークに乗せた。高所作業車に被災者を搭乗させたままフォークリフトを移動させたところ、高所作業車が転倒し、その際に地上高さ約1.8mの作業床上から投げ出され。
5	東京	12	道路貨物運送業	構内のプラットホーム上（高さ98cm）において、フォークリフトを使用してパレットの整理をしていた被災者が、フォークリフトとともにプラットホーム下まで墜落した際、横倒しになったフォークリフトの下敷きとなった。

■ フォークリフト

02. 転倒

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
6	宮城	2	その他の製造業	工場内で古畳を解体するためフォークリフトを用いて仮置きしている古畳のはいから、荷卸して移動中、積荷の古畳が不安定な状態であったために崩れ、付近でフォークリフトの誘導をしていた被災者に荷が激突しそうになり、荷を避けようとした被災者が転倒して頭部を強打した。
7	静岡	4	パルプ・紙・紙加工品製造業	被災者が、クランプ式アタッチメントを備えたフォークリフトにて、圧縮された古紙を運搬中、フォークリフトが転倒し投げ出された際に被災した。

■ フォークリフト

03. 激突

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
8	福島	4	食料品製造業	製氷工場内において、被災者が製品をリーチフォークリフトでコンベアに置き、当該フォークリフトを後退させた際、運転席から身を乗り出していたため、ヘッドガードの主柱とせり出した壁の間に頭部から胸部にかけ挟まれた(身を乗り出していた理由は不明)。

■ フォークリフト

04. 飛来・落下

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
9	宮崎	3	食料品製造業	重量約1.2tの脱気装置(縦1m、横2.1m、高さ2.6m)を最大積載荷重1.5tのフォークリフトでバック走行させながら運搬していたところ、フォークリフトの左前輪部の路盤が陥没し、フォーク上に積まれた脱気装置が落下し、フォークリフトの左前輪部周辺にいた被災者に倒れかかり、地上を通っていた水管との間で挟まれた。

■ フォークリフト

05. 崩壊・倒壊

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
10	長崎	1	清掃・と畜業	資材置き場にて、作業員がフォークリフトを運転し、アルミ缶をプレスした塊(幅1m×1.2m、高さ2m、重量1t)をコンテナ内に積み込む作業中、被災者が塊の側でフォークリフトを誘導していたとき、塊が被災者側に倒れ、被災者が塊とコンテナ内壁との間に挟まれた。

■ フォークリフト

06. 激突され

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
11	千葉	1	化学工業	工場敷地内の構内道路(斜度6度)に設置されたマンホールから泡(※製造の過程で使用した洗浄液が発酵し、発生することがある。)がわき出ているのを巡回の際に見かけた被災者が、自ら泡消しを行うため、噴霧器を使用して薬液を散布していたところ、立方体の形状のタンクを載せて直進してきたフォークリフト(最大荷重2t)に轢かれた。
12	茨城	2	土石製品製造業	工場内にて、コンクリート擁壁を製造する生コンクリートが入ったコンクリートバケットをフォークリフトで搬送していたところ、直進中のフォークリフトの前方に立ち入った被災者に接触した。
13	埼玉	8	鉄鋼業	休憩時、喫煙しようとして喫煙場所まで歩いていたところ、背後から構内関係請負人の運転する前進中のフォークリフト(最大荷重6t)に激突され轢かれた。
14	福岡	11	食料品製造業	工場内において、フレコンバッグに米を充填中、搬送準備をするため、被災者がフォークリフトのフォークにフレコンバッグの吊りベルトを掛けようとしたところ、充填中の米がこぼれ出したことから、被災者がこれに対処するためフォークの前に出た際に、慌てたフォークリフト運転者が踏み込んでいたクラッチを上げてしまい、前方に動いたフォークリフトのフォークが被災者の腹部に激突した。
15	東京	3	道路貨物運送業	貨物ターミナル構内において、5tコンテナに荷札(票)を取り付けるため、構内で歩行していた被災者が後進してきた12t積みフォークリフトに激突された。
16	福岡	5	道路貨物運送業	荷主側構内において、10tトラックの運転手の被災者は、運送をするためのクールボックス(重量約250Kg)の積み込み作業に従事していたところ、荷主側のフォークリフトオペレーターがクールボックスをフォークリフトでトラック荷台へ積み込む際、クールボックスが荷台上にいた被災者側に倒れ、被災者頭部を直撃した。
17	大阪	9	道路貨物運送業	フォークリフト運転手が、4tトラックからアルミパレットの荷下ろし作業を行い、フォークリフト(最大荷重3,250kg)を後進させたときに、フォークリフト後部に接近してきた被災者と接触し、被災者は後方に転倒し、後頭部を地面に強打した。

■ フォークリフト

06. 激突され

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
18	大阪	11	道路貨物運送業	トラックターミナル内のホーム上で、10tトラックで入場した相手方が、荷の積み込みをフォークリフト(最大積載荷重2t)で行っていたところ、荷台内でバックレストから爪が外れてしまった。そこへ通りかかった被災者が爪を取り付けるのを手伝っていたところ、ホームと荷台の隙間にフォークリフトの前輪が落ち込んだため、アクセルを踏み込んでしまい、被災者がバックレストと荷台の内壁に頭部を挟まれた。
19	熊本	3	畜産業	大型トラックで搬送された牛の飼料を、フォークリフトを使って飼料倉庫内に下ろし終えたところで、フォークリフト運転者が大型トラック運転手に挨拶をしようと、サイドブレーキを引かずに運転席を離れたところ、作業面が傾斜していたためフォークリフトが斜面を下って大型トラック方向に動き出した。そのため、フォークリフトを止めようとしたフォークリフト運転者が、フォークリフトと大型トラックの間に挟まれた。
20	佐賀	6	その他の商業	製材工場において、被災者が午前中から単独でフォークリフトの修理中であったが、同日、別のフォークリフト(最大荷重4t)のマスト(ベアリング部分)の点検作業を依頼されたため、被災者はフォークリフト前輪付近を点検していたところ、製品(木杭)を積込に来ていた木杭施工会社の作業員が2tトラックに製品を乗せるため当該点検中のフォークリフトのエンジンをかけ前進させたため、被災者が右前輪に轢かれた。
21	千葉	9	清掃・と畜業	ダストボックス(産廃を分別・運搬するための鋼製の箱、W2, 050×D1, 750×H1, 335mm)をフォークリフトに積載し、ボックスを地面から30cm程上昇させた状態で前進走行中、前方を歩行中の被災者をボックスの下に巻き込んでしまった。

■ フォークリフト

07. はさまれ・巻き込まれ

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
22	愛知	2	鉄鋼業	走行中であったラムトラックという車両系荷役運搬機械の左前輪に労働者が巻き込まれ死亡したもの。ラムトラックとは、いわゆるフォークリフトの爪が一本になったようなもので、1本のラムと呼ばれる爪を、「コイル」という鉄板がコイル状に巻かれた物の穴に刺し、持ち上げ、移動する機械である。

■ フォークリフト

07. はさまれ・巻き込まれ

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
23	茨城	10	金属製品製造業	フォークリフト作業(最大荷重2.4トン)を行っていたところ、フォークの油圧パイプがマストにからまる不具合で、フォークが降下しなくなった(フォークの高さは約1.1m)。そのため、被災者がフォーク下に入り、フォークの油圧パイプ部の修理を行った。このとき、油圧パイプ部が破損したため、フォークが急降下し、被災者が当該フォークの下敷きになった。
24	愛知	10	木材・木製品製造業	被災者は最大荷重2tのフォークリフトを運転し木材の端材が入った鉄箱(重量約400kg)の運搬作業に従事していた。(単独作業)作業中にフォークが下降しなくなったため鉄箱の直下に入りマストの下部を点検していたところ、下降してきたフォークと地面の間に頭部がはさまれた。昼食に戻らない作業者を心配した守衛により発見された。
25	佐賀	4	道路貨物運送業	被災者は1.1tのリーチフォークリフトに乗って自身が乗ってきたトラックに荷の積み込み作業を行っていた。荷の積み込み後、左にハンドルを切りながら後進したところ、停めてあった別のトレーラーの架台にフォークリフトごと背中から滑り込み、フォークリフトの運転操作盤と架台に上半身を挟まれた。
26	静岡	9	道路貨物運送業	被災者はビールの配送と空容器回収のため、県内の配送先に到着した後、配送先のフォークリフトを使用し積み降ろしを行い、空容器をトラックの空いたスペースに積み込みする際、何らかの理由により運転席から離れ、マストとヘッドガード上部フレームに挟まれた。
27	愛知	8	小売業	被災者は、店舗倉庫入口の庇の下で、フォークリフトのフォークにパレットを差し込み、その上に乗って、当該フォークを上昇させたが、バックレストと庇屋根の波板の間に胸部を挟まれた。1人作業であった。挟まれた箇所付近の庇には、台風によって壊れた垂れ幕が掛かっていた。

■ 不整地運搬車

01. 墜落、転落

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
28	宮崎	4	林業	集材造材現場において、被災者は杉の玉切り材を不整地運搬車(最大積載荷重10t)に積載するため、不整地運搬車を土場から200m離れた造材作業箇所まで運転していた。土場から81m上った作業路(作業路の縦断勾配9度、横断勾配5度、幅6m、ほぼ直線)において、不整地運搬車が路肩から20m斜面(平均勾配33度)を転落し、被災者は不整地運搬車の下敷きになった。

■ 不整地運搬車

03. 激突

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
29	千葉	8	建築工事業	左官工事用の砂を一輪車で移動させるに際し、移動経路上に停車していた <b>不整地運搬車</b> (最大積載量990kg)が一輪車の移動の妨げになるため、当該不整地運搬車を移動させていたところ、操作を誤り、足場の横流し単管パイプと不整地運搬車の機体の一部に挟まれた。

■ 不整地運搬車

07. はさまれ・巻き込まれ

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
30	北海道	2	土木工事業	被災者は貨物自動車の荷台で荷台上を前進する <b>不整地運搬車</b> の誘導をしていた。不整地運搬車が停止した直後、運転手が所定位置に止められたかを確認するため運転席から顔を出した時、ブレーキペダルを踏んでいた右足が浮いて前進し始めた。運転手はブレーキペダルを踏もうとしたが、誤って右隣のアクセルペダルを踏んだことからさらに前進した。この結果、被災者は不整地運搬車前方と貨物自動車の鳥居部の間に右胸部を挟まれた。